

おおぞら 議会だより

CONTENTS

9月定例会を開催	2
議員5名が一般質問	4
①上地議員 健康づくりの取り組みについて ほか	
②鈴木議員 ふるさと納税について ほか	
③後藤議員 バイパス道路整備に向けたまちづくりについて	
④川村議員 ふるさと納税を活用した地域活性化事業について	
⑤岩原議員 大空町障害福祉サービスの現状と課題について	
議会広報モニター会議を開催	11
決算審査特別委員会	12



大空高校オープンキャンパスにて、総合的な探究の時間の発表がありました。

令和7年
10月臨時会
10月21日

旧東藻琴高等学校寄宿舎解体 工事請負契約を可決

YouTube の QR コードはこちら



女満別老人福祉センター

補正予算

障がい者支援拠点施設整備工事（女満別老人福祉センター）など一般会計補正予算について審議し、可決しました。



旧東藻琴高等学校寄宿舎（緑友寮）

工事請負契約の締結

旧東藻琴高等学校寄宿舎解体工事の工事請負契約について、可決しました。

北網ブロック町議会議員研修会を開催

10月9日、議事堂文化ホールにて、北網ブロック町議会議員研修会を開催しました。近隣8町の町議会議員・議会事務局職員94名が参加しました。

大空高等学校 大辻雄介校長に「教育の魅力化と地方創生」をテーマに講演をいただきました。社会を1mmでも前に進める、生徒の探求心を高める教育活動などについて語られました。



議会の傍聴はお気軽に！

- ◆定例町議会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開かれます。お気軽に傍聴においでください。
- ◆YouTubeを活用し、本会議のインターネット中継を行っています。パソコン、スマートフォン等でご覧いただけます。

12月定例会は、
12月17日(水)から
開かれる予定です。

大空町議会
YouTube



令和7年
9月定例会
9月11日～12日

一般会計予算に 3億557万円を増額、 総額は97億6,220万円に

YouTube の QR コードはこちら



補正予算（歳出）の主な内訳

事業名	補正額
畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業補助金	7,120万円
旧東藻琴高等学校寄宿舎解体工事	6,588万円
畑地化促進事業補助金	3,870万円
麦・大豆生産技術向上事業補助金	1,701万円
認定こども園施設型給付費	1,648万円

補正予算

一般会計のほか、4特別会計、3公営企業会計の補正予算について審議し、可決しました。

問

修繕料334万円。修繕の詳細を伺う。

産業課

現在102台のリールマシンがあり、139件の修繕を予定しています。修繕の内容は、

問

購入する内容を伺う。

災害対策事務費



リールマシン

首を振って水を撒くレインガンの動きが悪いこと、パイプが上手く巻き取らないものの調整などなっています。

給付費

認定こども園施設給付型

認定こども園の保育士等の処遇改善の状況について伺う。

問

検診や抗体検査等の受診率、ワクチン接種率向上に向けた町民周知について伺う。

工事請負契約の締結

女満別B&G海洋センタープール改修工事（シート防水・床改修）の工事請負契約について、可決しました。



改修を行うB&G海洋センタープール

物品の購入

トラック（ダブルキャブ）を購入することについて、可決しました。



購入予定のトラック（ダブルキャブ）

条例一部改正

大空町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定など3条例の一部改正、北海道大空高等学校寄宿舎条例を廃止する条例制定について可決しました。

要望意見書

「国土強靱化に資する社会資本整備等に関する要望意見書」について可決しました。

防災の取り組みについて

避難所における要配慮者への課題は

町長▼避難誘導も含め、対応できるよう検討

町長 指定避難所18か所、指定緊急避難場所が34か所。福祉避難所も2か所指定しています。開設訓練を兼ねた防災訓練を消防や消防団、関係機関などとも協力し、定期的に開催しています。近年の高温対策としてスポーツクワラーを準備しています。B&G海洋センター防災倉庫が新設され防災備品の充実も行っています。本年度は、B&G財団の防災事業を活用した防災資機材の購入、防災倉庫の建設、避難所備品新規購入を予定しています。

教育長 気象等の災害情報について、気象庁の最新情報

問 要配慮者の対策計画で名簿作成されていると思いますが、避難所に行く方の対象を絞っておくことが大切かと思ひます。感染症対策、非常食のアレルギー対策も課題になっていますが、



防災教室の様子

問 地球温暖化の影響等による豪雨、豪雪、暴風、危険な暑さなど、これまで異常気象とされてきたものが、近年は常習化してきています。これからの地域住民の生命と財産を守るためにも、万が一の災害に備えていく必要があります。現在までのような取り組みを行ってきたのか伺う。

を確認することで迅速な情報収集に努めます。また、大空町のメール配信やそらナビを利用し、アラートの災害情報登録している方へ即時、情報提供しているほか、携帯電話との協定により災害エリア内の携帯所有者に一斉に災害情報メールを送信、緊急通報メールを利用し、情報提供を行っている体制を整えています。FMあばしりによるラジオ放送のほか、緊急情報を見ることのできる地デジ広報も開始しています。

最後に、自主防災組織の育成・強化の取り組みを進めていただけでなく、防災組織活動や防災資機材整備に係る費用の助成も行っています。町民向けのハザードマップ、避難所リスト、安否確認の手順を示した印刷物を全戸配布し、デジタル版についてはホームページに掲載しています。

町長 要配慮者の方については、避難誘導も含め、避難所での対応も考えていかなければならないと思っています。食事にアレルギー対応している物を用意することにも必要と考えています。

教育長 非常に重要なツールであると考えています。学校では、ハザードマップ、被害想定区域を活用した学習の中で、自宅にいる時や下校時に災害が発生した場合の避難場所を確認しながら、自分の命を守る学習を実施しています。学校だよりなどを通じて御家庭にもお知らせし、日常の中で災害時の行動について話し合う機会が持てるよう、引き続き周知に努めます。

健康づくりの取り組みについて

う え ち ふ み た か
上地 史隆 議員



上地議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。

福祉事業所でも災害時の業務継続計画作成と避難訓練が義務となっており、皆さんも災害時に行動する方と話し合うことも大切だと思います。

町長 ふれあいトークに保健師や栄養士が同い、健康づくりについて啓発活動させていただいているほか、日常生活で御家族や御自身の健康についてのお悩みなどを受ける栄養・健康相談窓口の設置のほか、今年度より血圧計購入費の助成を実施し、御自身の健康状態に関心を持ち、生活習慣の改善に取り組むことを支援し、健康増進を図っています。

問 特定健診が目標値の60%に達成していない。がん検診も全体的に10%前後と低いと思うが、健診率を上げていくことが必要では。

町長 令和5年度の特定健診の対象者数1,373人に対して受診者数は632人、受診率46%。特定保健指導の実施率は対象者数85人に対し、保健指導終了者数52人、指導率は61.2%です。がん検診受診率ですが、項目ごとに胃がん検診、男性、14.9%、女性12.8%、肺がん検診、男性17%、女性19.5%。大腸がん検診、男性16.9%、女性16.8%、子宮がん検診12.4%。乳がん検診18.1%、前立腺がん検診10.4%です。これらの検診について受診率向上対策の一環として、5年ごとに健診費用自己負担額の無償化を実施しています。



検診(問診)の様子

問 国においては全ての国民が穏やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現に向けて、令和6年度から令和17年度までの第三次国民健康づくり運動、健康日本21第三次を増進していきます。それに伴い、私たちの町も健康増進計画を定めていますが、現在までのような取り組みを行ってきたのか伺う。

町長 受診率向上について、健診体制を女満別、東藻琴の両地区において、土日に実施し、平日受診が困難な方でも受診しやすくなるように対応しています。個別健診については、町内二つの医療機関のほか、網走厚生病院、網走脳神経クリニックでも受診可能としています。町の健診を実施していただいた方には、そらつきーポイントの付与や未受診者対策として、電話勧奨などのさらなる強化を図ってまいります。

問 住民の方にポイント付与を拡大できないかという意見をいただくことがあります。実際にインセンティブ化を図って健康ポイント事業を取り入れている自治体

町長 ポイントを集める楽しみもありますし、それが健康、生活改善に繋がることになりまうので、町民の皆さんが健康を維持していくために検討していきたい。

も増えてきています。医療費の抑制、介護予防にも繋がると思ひので検討していただけないか。

検診の受診率を向上させるには

町長▼オンライン申請の準備を進めている

指定地域共同活動団体制度について

住民主体の活動を支援する制度設計を

町長▶持続可能な地域運営の観点から活用を探る

町長 「地域運営を持続可能にするための連携・協働のプラットフォーム」と位置づけ、地域の環境美化、防犯活動、施設管理などでの活用を想定しています。一定の要件を満たし、町の指定を受けた団体は、行政財産の貸付けや随意契約による事務委託が可能になります。

町長 現時点では条例化など具体的検討は未着手であり、先進事例を調査しながら大空町にふさわしい

問 令和6年度の地方自治法改正により創設された「指定地域共同活動団体制度」は、人口減少や高齢化により行政の担い手や財源が制約される中、住民が快適で安心して暮らせる地域社会を維持するため、自治会・福祉団体・教育関係団体など多様な団体が連携・協働し、行政とともに公共サービスや地域課題の解決に取り組む仕組みです。

問 導入方法を検討します。人口減少や少子高齢化は、深刻な行政課題と認識しており、自治会や福祉関係団体、さらには教育関係団体等が連携し、地域づくりに寄与していただくことは大変重要です。

問 先進事例は、自治会連合会、自主防災組織、体育文化活動団体等、多様な団体が、連携・協働しながら地域的な共同活動を展開する形式です。

問 町長部局の関係団体と教育関係団体との調整を図り、各団体への事業周知と要望を把握し、条例制定の準備を進める必要があると思うが。

町長 先進事例を参考に研究を進め、町の規模や実情に応じた導入の可否を検討します。また、高齢化により自治会が公共施設管理を行政に返上する例もあり、持続可能な地域運営の観点から制度活用の可能性を探ります。



自治会での防災活動



指定地域共同活動団体制度

ふるさと納税について

鈴木 秀之 議員



鈴木議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。

未来につながるまちづくりを進めるためには、着実な財源確保策と情報の収集が大切です。

まちづくり推進室 令和6年度は、96,587,168円、件数は4,436件でした。

問 ふるさと納税制度は、本来の地域を応援するという趣旨が希薄化し、返礼品の競争の激化、高所得者ほど返礼品を受け取れるなど、公平性の問題も指摘されています。また、町民によ

町長 ふるさと納税を活用した事業成果は、当町のホームページで応援寄付金の採納、活用状況を掲載しています。寄附して頂いた方にその活用状況を公開し、引き続き応援していただけるよう努めます。

問 ふるさと納税制度は、今後、更なる見直しも予想されます。近隣の自治体の中には、ふるさと納税の歳入を見

町長 返礼品競争に偏らず「町のファンづくり」を重視していきます。

町長 寄附額は、令和2年度から減少傾向で、近年の物価高の影響による米や農作物の需要増大、ふるさと納税ポータルサイトでの返礼品の効果的PR不足等との分析結果から、昨年度途中からタマネギなどの農産物を新たに返礼品として加えるなど一部見直しを図っています。

問 ふるさと応援寄附金を活用したことにより実現できたことなどをPRし、寄附をした方に引き続き町を応援していただける取り組みが必要と思うが。

町長 応援したい自治体に寄与をした場合、寄附をされた方は、自己負担額から2,000円を除いた残りの額が、所得税や個人住民税から控除されます。当町では、昨年度約750万円、所得税、個人住民税等が減少しました。

問 ふるさと納税は、大空町の認知度を高めたり、地元企業の成長発展につながります。ふるさとへの応援につながる交流人口の増加へ繋げる活動の充実として、大空町での体験活動や交流活動の企画について伺う。

町長 寄附を頂いた方が、その寄附金の使われ方を知ること、より大空町のことを理解していただくことにつながっていると思います。寄附者との交流機会の創設等は、可能性を検討していきます。



大空町ふるさと応援寄付金ホームページ

町の魅力向上につながるふるさと納税の活用

だくという本来の趣旨にのっとり、より魅力的なまちづくりのために有効活用していきます。



早期に大空IC(仮称)周辺整備の計画を

町長▼開発局へ産業開発公社と連携し対応

問 女満別空港網走道路の事業の概要と現在の進捗状況について伺う。

町長 道路整備の区間は、女満別空港から網走までの約20kmです。令和6年3月に、まず、女満別空港ICから網走呼人IC区間の10・9kmについて、新規事業化が北海道地方小委員会において妥当と評価され、6月に関係地権者等を対象に道路計画説明会を開催し、その際に、概ねのルートとして250m幅での図面が提示されたところ

問 大空IC(仮称)予定地周辺の女満別眺湖台3丁目町有地(旧女満別中学校用地)及び隣接する民有地(旧女満別食品跡地)の現況について伺う。

町長 インターの詳細な位置が示されているので、インター予定地周辺と言えるか分かりませんが、女満別眺湖台3丁目、住宅街東側にある町有地は、建設課の土場として一部利用しており、隣接する旧女満別食品工場は、昭和48年女満別中学校の移転新築に伴い、旧校舎跡地がフタバ食品株式会社売却され食品工場として稼働しました。その後、平成15年2月に工場の生産活動が中止となり、閉鎖となっています。

利用されています。建物は工場として使われていた旧校舎、倉庫などがあり、最も古いもので築70年以上が経過しています。老朽化が著しい建物の解体などについては、所有者であるフタバ食品が今年度、一部解体工事を実施しています。

問 大空町の情報発信拠点でもある「道の駅メルヘンの丘めまんと」へのアクセス性を考慮した大空IC(仮称)の設置を開発局へ強く働きかけていただければと思います。

町長 大空IC(仮称)の設置については、道の駅近くにインターをきちんと設けていただいて、道の駅に寄る。さらには市街地に寄る。そして、観光施設でもあるメルヘンの丘、そういったところを見ていただくことは必要になると思います。



北海道横断自動車道 開通予定図

町長 女満別空港網走道路に特化したものではなく、大空町の将来を見据えた、今後のまちづくり全体としての戦略的なビジョンというのは、将来、人口も減り、商店街の構成も変わり、そういった中でまちづくりのビジョンを、適宜、適切なときに状況を見据えて考えていかなければならないと思っています。

問 バイパス道路整備に向けたまちづくりの方策について、どのように考えているのか伺う。

バイパス道路(女満別空港IC~網走呼人IC)整備に向けたまちづくりについて

後藤 忍 議員



後藤議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。



端野高野道路も視野に、近隣市のベッドタウン化も想定した、選ばれる町への備えも必要です

現在、この示された250mの幅の中で、道路線形を検討し、設計が進められている状況となっています。仮称であり、大空ICの位置については設計検討中で、現時点では詳細な位置が示されていない状況です。

工場閉鎖後、町内の農業グループなどが施設の一部を借り受け、生産物の貯蔵場所として現在も

クラウドファンディング型ふるさと納税の導入を

町長▼まちづくり推進室を中心に前向きに検討

問 現在、寄附件数・金額が伸び悩む中、他自治体ではクラウドファンディング型ふるさと納税(以下GCF)により成果を上げています。本町でも芝桜公園や女満別空港、農作物、大空高校、環境・移住交流などをテーマとしたGCF導入を検討すべきではないか。町として導入を検討しているか伺う。

町長 効果としては、新市民・企業の参加意識向上、情報発信と共感拡大、地域経済やコミュニティの活性化など多面的な効果が期待できます。試行的導入を含め積極的に取り組めます。

問 導入による効果をどう考えるか伺う。

町長 効果としては、新市民・企業の参加意識向上、情報発信と共感拡大、地域経済やコミュニティの活性化など多面的な効果が期待できます。試行的導入を含め積極的に取り組めます。

問 芝桜公園活性化の際に導入を検討したが見送りとなりました。総務省調査によると全国の約25%が導入しており、本町でも課題解決につながる可能性があるなら前向きに検討します。

町長 観光や教育を対象に立ち上げる考えはあるか伺う。

町長 現時点で具体的な対象事業は未定ですが、今後は町の重点施

問 検討の体制やスケジュールなど、導入に向けた庁内体制や試験的導入の見通しがあれば伺う。

町長 具体的スケジュールは未定ですが、所管のまちづくり推進室を中心に検討します。まずは芝桜公園の活性化事業で試験的に導入し、成

ふるさと納税を活用した地域活性化事業について

川村 淳 議員



川村議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。

クラウドファンディング型ふるさと納税導入によって、地域経済やコミュニティの活性化を図ることが重要です。

果を踏まえて次の展開を図りたいと考えています。

問 将来的に民間事業者や学生団体などと連携した官民連携型GCFも望ましいと考えます。このことについて見解を伺う。

町長 民連携は効果的です。行政と民間が協働で企画・推進することで資金調達の幅を広げ、地域発信力を強化できます。先行自治体の事例を研究し、民間提案型GCFの仕組みも検討します。

問 教育分野での活用について、特に大空高校の留学支援や探究活動支援への可能性をどう考えるか見解を伺う。

町長 教育・人材育成への寄附は共感を得やすく、クラウドファンディングとの相性が良い

教育長 GCFは町長部局の所管ですが、教育委員会としても留学・探究活動支援などの財源確保のため連携していきます。活動成果レポートを返礼品として活用することも検討可能です。

町長 GCFは共感と応援を得る仕組みとして有効です。町民活動支援にも活用できる可能性があり、今後も積極的に検討していきます。

問 町長・教育長双方から前向きな姿勢をいただきました。特色ある資源と教育を生かし、全国から共感と支援を得る新たな挑戦に期待します。



町長 現時点で具体的な対象事業は未定ですが、今後は町の重点施



東藻琴芝桜公園 ふるさと納税受付

障がいのある方が地域で安心して暮らせる町へ

町長▼当事者・家族・地域が共に支える体制づくりを推進

町は障がいのある方が住み慣れた地域で安心して暮らし、働き、支え合う「共生のまちづくり」を進める姿勢を明確にしたと感じました。

いわはら しげる
岩原 繁 議員

大空町障害福祉サービスの現状と課題について



岩原議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。

問 地域活動支援センター「ケラケラ」は、8名が利用していますが、施設の老朽化や狭さ、電力不足などにより、受け入れ拡大が難しい状況にある。放課後デイサービスと併設した多機能型事業所とする中で障がい児から成人まで一貫した支援体制を整えるべきと考えるが現状について伺う。

町長 大空町社会福祉協議会と連携し、今後は就労支援B型事業の指定を受けることを想定しています。放課後デイサービスは令和7年度内の開設を目標に、女満別老人福祉センターの一部改修を進め、「ケラケラ」と併設した多機能型施設として効率的運営を検討しています。

問 相談支援事業所「糸」は専門員1名で約40名を支援して

り、事務量が多く、町の地域移行支援までになっています。人員不足により本来業務への影響が懸念されますので、人員の増強や町による支援が必要と見えます。

町長 発達支援や放課後デイサービスの開設により業務が増加するため、人員増強は不可欠と認識しています。相談支援専門員の資格は、業務経験が求められ、更新制となるなど厳格化されています。このことから行政が直接人材を確保することは現実的ではなく、民間による専門性と継続的な相談支援事業の運営実績が必要であるため、社会福祉協議会において必要な人材を確保する事業に対し、町として支援しています。

町長 障がい福祉に関する課題は多くの町民に関わることであり、各サービスは町民福祉に資する重要な施策です。町が担うべき包括支援体制の構築に向けて、必要とされるサービス資源の開拓、充実に努めます。また、第7期障がい者福祉計画（令和6～8年度）では、早期療育支援や移動支援の充実、居住と日中活動の場の確保、相談場所の確保を目標に掲げています。発達支援事業及び放課

問 障害福祉サービス全体について、基本的な買い物、通院、生

活支援が提供されています。また、町内には重度身体、知的、精神、特別支援学級など338人の当事者がいますが、関係者を合わせると町民の15%が関連します。町はこの現状をどのように認識し、これら包括的な支援体制の構築が急務であるが、町長の見解を伺う。

町長 障がい福祉に関する課題は多くの町民に関わることであり、各サービスは町民福祉に資する重要な施策です。町が担うべき包括支援体制の構築に向けて、必要とされるサービス資源の開拓、充実に努めます。また、第7期障がい者福祉計画（令和6～8年度）では、早期療育支援や移動支援の充実、居住と日中活動の場の確保、相談場所の確保を目標に掲げています。発達支援事業及び放課

町長 障がい福祉に関する課題は多くの町民に関わることであり、各サービスは町民福祉に資する重要な施策です。町が担うべき包括支援体制の構築に向けて、必要とされるサービス資源の開拓、充実に努めます。また、第7期障がい者福祉計画（令和6～8年度）では、早期療育支援や移動支援の充実、居住と日中活動の場の確保、相談場所の確保を目標に掲げています。発達支援事業及び放課

問 発達支援事業及び放課

後デイサービスの実施については、社会福祉協議会と連携し、令和7年度から人材確保の上、準備室を立ち上げていただき、事業実施に向けて動き出しています。

問 幼少期から就労期まで一貫して支える体制として、町にも専門職の配置等や将来的な施設整備費等を見据えた予算の対応について伺う。

町長 町内での自立生活を実現するため、幼少期から就労期まで切れ目のない支援を社会福祉協議会と一緒に進めていき

問 幼少期から就労期まで一貫して支える体制として、町にも専門職の配置等や将来的な施設整備費等を見据えた予算の対応について伺う。



地域活動支援センター「ケラケラ」

ます。町の専門職配置は困難ですので、福祉協議会の中で確保いただき支援を行っていかねばならないと考えています。また、施設整備は研修会館敷地なども候補に、社会福祉協議会と共に検討したいと考えています。さらに「親亡き後の生活支援」は町の重要な責務であり、当事者・家族・地域が共に支える体制づくりを進めます。

親しまれる議会だよりを目指して

～議会広報モニター連絡会議を開催～

議会だよりにより町民の声を反映するため導入している「議会広報モニター連絡会議」を令和7年10月22日に開催し、議会広報活動へのご意見をいただきました。主なご意見は次のとおりです。



- 表紙に議会議員の写真が出た方が良い。
- 一般質問の写真が臨場感あって良い。
- 文字数が多くて、読みづらいと感じる。
- 有料広告を出している人に、町民の声を聞いては。

議会広報モニターを募集します

任期	2年間（最初のモニター会議から）
募集人数	5人
応募資格	大空町内にお住まいの方及び町内で勤務または通学している18歳以上の方
役割	議会広報活動への意見などを議会広報モニター連絡会議（年2回予定）の場において提案いただきます。
謝礼	大空町商工会商品券
応募方法	様式は問いません。「氏名」「住所」「生年月日」「電話番号」を記入の上、郵送・FAX・メール・持参により応募ください。
応募先	大空町議会事務局 住所：大空町女満別西3条4丁目1番1号 電話：0152-77-8106 FAX：0152-74-2191 メール：gikaijimukyoku1@town.oozora.lg.jp
応募締切	令和7年12月30日（火）まで

大空町20年記念 女性模擬議会を開催

10月25日、大空町20年記念 女性模擬議会を開催しました。女性模擬議会の様子は、臨時号を発行し、詳しくお伝えいたします。



女性模擬議会に参加して

河西 かおり さん
(喫茶エイドコーヒー店主)



○出身はどこですか

恵庭市です。高校まで恵庭で過ごし、大学進学で上京してそのまま就職しました。

○なぜ大空町に移住されたのですか？

東京でコーヒースタンドを営んでいましたが、コロナ禍で閉店することに。好きな仕事だったので諦めきれず、リモートワークをしながらコーヒー屋を再開できないかと考え、移住を決めました。当時、大空町地域おこし協力隊だった山本さんのサポートを受けられたことが大きかったです。

○大空町の良いところは

町民がみんな優しい！野菜が新鮮で美味しい！空が

いつも広々として美しい——良いところを挙げ出したらキリがありません。

○大空町の問題点はなんですか

東藻琴と女満別をつなぐ公共交通機関が少ない点。大空高校の寮生は特に不便を感じていると聞いています。自動運転バスやライドシェアなどの導入をぜひ検討していただきたいです。

○女性模擬議会に参加してどう感じましたか

参加前は議会の役割や議員の仕事についてよく分かっていませんでしたが、実際に体験することで理解が深まりました。貴重な機会をいただきありがとうございました。

なつかしの校舎



山園小、中学校

山園地区は、昭和13年、宮城、福島、秋田、山形、千葉、長野県等からの北海道庁柘植補助移民64戸が入植し開拓農営が始まりました。

学齢児童は、一時上藻琴尋常小学校へ通学しましたが、同年6月に上藻琴尋常小学校所属特別教授所の設置許可を受け、4線120番地の28坪の柘植移民共同住宅を校舎として授業が開始されました。

昭和17年、児童数は、73名に増加、国民学校に昇格となり、校舎改築の必要に迫られ、学校位置の決定が地域課題となりました。30回以上の会合を重ねた結果、現在地が建設地となり、昭和19年11月新築校舎が完成。

昭和22年制度改革により、高等科は廃止となり、中学校が併置。

中学校は、昭和53年に東藻琴中学校に統合されましたが、同年10月鉄筋コンクリート造り一部二階建て校舎が新築されました。

小学校は、平成12年3月で休校となり、東藻琴小学校に統合され、平成17年3月廃校となりました。

小学校卒業児童は、716名。中学校卒業生は、534名でした。

校歌の作詞は大塚 盈先生、作曲は、新野 仁助先生。三番の歌詞には、「明日は夢よ 美しく 行手に懸かる北斗星 ゆるがぬ操わがもちて 貫く力ここに練る 創れよ山園 われらが母校」と詠われています。

(参考文献 東藻琴村誌、東藻琴小学校開校百周年記念誌)

Budget

バジェット・レンタカー

バジェットレンタカー 女満別空港店 ウィンターセール

大空町議会だよりを見てご予約の場合

通常価格から 30%OFF ~

でさらにお得！

〒099-2371
北海道網走郡大空町女満別中央 293 番
☎0152-77-6877 08:00~20:00

※民間企業からの有料広告を掲載しています。

編集後記

今年も、早いもので12月。一年の締めくくりとなりますね。寒い中みなさんは風邪など引かずにお過ごしでしょうか？

さて、編集後記ということで、今回担当は大泉です。編集にあたって毎回と言っているほど頭を悩ませるのが、裏表紙の有料広告、町民の声であります。ご自分でやらせていただきたいというのもこの4年で1回ありましたが、ほとんどが委員間で、あの方は？この方は？というお話をさせていたいています。言いたいことがある、私の店宣伝したい！という方おられましたら、ぜひご連絡ください。今回はちよつとした苦勞話でした！最後まで読んでいただき誠にありがとうございました！

(大泉)

議会広報常任委員会

私たちが編集しました

議長 原本哲己(発行責任者)
委員長 鈴木秀之
副委員長 上地史隆
委員 森賀祐司
委員 福田淳一
委員 大泉知功

今後ともよろしくお願いいたします。

